

秋の夜長をシューマンと共に

ルンデ
第8回公演

The TRIO

Sunao Goko × Gen Yokosaka × Hiroshi Kato



<ヴァイオリン>
郷古 廉



<チェロ>
横坂 源



<ピアノ>
加藤 洋之

Program.

ロベルト・シューマン

アダージョとアレグロ (横坂・加藤)

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 二短調 Op.121 (郷古・加藤)

幻想小曲集 (横坂・加藤)

ピアノ三重奏曲 第3番 ト短調 Op.110 (郷古・横坂・加藤)

2020 **11/25** [水] 18:15 開場 三井住友海上しらかわホール
19:00 開演 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-9-15

チケット代金 (全席自由) 一般: 4,000 円 / 学生: 2,000 円 / ペア: 7,000 円

チケットの購入 ルンデ <https://dbf.jp/runde/c201125/>



花束よりチケットを

ルンデでは出演者のプレゼント等は受付にてお預かりいたしません。
そのお気持ちをチケットにかけて、ご家族、ご友人とお越しいただきましたらうれしく思います。



主催: 一般財団法人 ルンデ
052-671-3074 / runde@dbf.jp

Sunao Goko
Gen Yokosaka
Hiroshi Kato

The TRIO



©めぐろパーシモンホール

ヴァイオリン

郷古 廉

Sunao Goko

2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとりである。

1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。

2006年第11回ユーディ・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。2007年12月のデビュー以来、日本各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、井上道義、尾高忠明、小泉和裕、上岡敏之各氏などがある。《サイトウ・キネン・フェスティバル松本》、《東京・春・音楽祭》、《ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン》にも招かれている。リサイタルにも力を入れており、2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んでいる。

現在、ウィーン私立音楽大学にて研鑽を積みながら、ヨーロッパにおいても徐々に演奏機会を増やしている。

これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。国内外の音楽祭でジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコ各氏のマスタークラスを受ける。

CDは無伴奏作品集やブラームスのヴァイオリン・ソナタ集に加え、2016年11月にEXTONレーベル第2弾となるバッハとバルトークの作品集をリリースした。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。

チェロ

横坂 源

Gen Yokosaka

桐朋学園女子高等学校(男女共学)、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。

2002年、全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少(15歳)で第1位。

2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。

13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を共演したのを皮切りに、ソリスト、室内楽奏者としても活躍。2019年/2020年には演奏活動20周年を迎え、全国各地でソロ・リサイタルやオーケストラとの協演を展開している。

ピアノ

加藤 洋之

Hiroshi Kato

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学器楽科を卒業。学内にて「安宅賞」を受賞する。同大学院在学中の1990年にジュネーブ国際音楽コンクール第3位入賞後、ハンガリー国立リスト音楽院に留学し、イシュトヴァン・ラントシュ氏に師事、1996年よりケルンに移り、パヴェル・ギリロフ氏に師事した。

1993年にルセ国際音楽祭でブルガリア国立放送響と協演した後、ブダペスト・フィル、スウェーデン・ヘルシンボリ響の定期公演への出演、ハンガリー国立響、日本フィルなど内外のオーケストラと協演し、現在までドイツ各地や、イタリア、スイス、オーストリア、ベルギー、スペイン、チェコ等でソリスト、室内楽奏者として多岐にわたる演奏活動を続けている。

ウィーン・フィル第1コンサートマスターのライナー・キュッヒル氏とは、1999年から現在まで、デュオ・パートナーとして国内外にて数多くの公演を重ねてきた。

2002年12月のウィグモア・ホール(ロンドン)でのコンサートは「The Times」紙上で絶賛された。また、2010年6月にはウィーン芸術週間に出演、3日間に亘るベートーヴェンの「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ」全曲演奏会がウィーン楽友協会において開催され、大成功を収めた。

感染症対策のためのお願い

- ・発熱(37度以上)および体調不良の方の来場はお控えください。公演後でも構いませんので連絡いただきましたらチケット払い戻しいたします。
- ・マスクをご持参ください、ロビーよりご着用お願いいたします。
- ・物販はございません。また公演後の演奏者との交流も中止いたします。
- ・ホールの要請により使用できない席がございますことご了承ください。
- ・チケットの半券にご記名のうえ、ご来場下さい。